

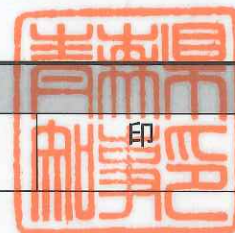
環境省・オフセット・クレジット(J-VER)認証運営委員会 御中
(事務局:気候変動対策認証センター)

平成23年1月7日

温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

プロジェクト名			
青森県県有林 森林吸収プロジェクト(幸せの青い森プロジェクト)			
【依頼者】 プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	青森県知事 三村申吾 (アオモリケンチジ ミムラシゴ)		
住所	青森県青森市長島一丁目1番1号		
代表者氏名	三村申吾	代表者役職	青森県知事
担当者氏名	佐藤文宏	担当者 所属部署・役職	青森県農林水産部 林政課企画グループ 技師
担当者 E-mail	fumihiro_sato@pref.aomori.lg.jp	担当者電話番号	017-734-9507
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	青森県		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	青森県		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認・検証機関			
妥当性確認機関名	社団法人 日本能率協会 地球温暖化対策センター		
検証機関名	社団法人 日本能率協会 地球温暖化対策センター		



プロジェクト情報	
プロジェクト登録番号 (4 ケタ)	0046
プロジェクト登録日	平成22年11月15日
プロジェクト概要 ¹	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>1 プロジェクトの目的・内容</p> <p>青森県では、約 5 4 0ha の県有林を管理しており、良質な木材の生産を図ると共に、水源のかん養や土砂の流出の防備、二酸化炭素の吸収機能をはじめとする森林の持つ多面的な機能を高度に発揮させるために適切に森林の整備を行うなど、県民が安心して生活できる森林づくりを進めている。</p> <p>一方、森林の持つ二酸化炭素の吸収機能は、地球温暖化対策として世界的に重要視されているが、国内では木材価格の低迷などから、二酸化炭素の吸収力を高める間伐作業が遅れている状況にあり、本県においても同様である。</p> <p>そのため、青森市横内地内の八重菊県有林について、間伐実施林 (24. 68ha、[※]のみ) の二酸化炭素吸収量を J-VER 制度に基づきクレジット化し、企業等に販売して得た資金による森林整備を実践することで、県民の幸せな暮らしを守る森林を社会全体で支えていく仕組みの普及を図る。</p> <p>2 適格性基準との整合性</p> <p>実施規則、ポジティブリストに準拠している。</p> <p>3 法令遵守状況</p> <p>森林法に基づく伐採届けを提出しており、法令を遵守している。</p> <p>4 採用技術</p> <p>(1) 面積測定器：ポケットコンパス S-25 (メーカー：牛方商会)</p> <p>(2) 樹高測定器：バーテックスⅢ (メーカー：ハグロフ社)</p> <p>(3) 胸高直径測定器：林尺 (メーカー：牛方商会)</p> <p>5 モニタリング方法</p> <p>本計画地はなだらかな地形に位置することから、近接するモニタリングポイントを7つにグルーピングし、それぞれにモニタリングプロットを設定した。この7箇所のプロットについて、林政課企画グループの J-VER 担当者が出先機関等と</p>

¹ プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関する内容を3ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

協力し、モニタリング調査を行い、吸収量を算定した。

6 GHG 算定式の方法論への準拠性

R001 (Ver. 4.0) - 森林経営活動による CO₂ 吸収量の増大 (間伐促進型プロジェクト) に関する方法論に準拠している。

7 モニタリング体制

吸収量算定責任者 (以下算定責任者) を林政課企画グループマネージャー、吸収量算定確認者 (以下算定確認者) を林政課企画グループサブマネージャー、吸収量算定担当者 (以下算定担当者) を林政課企画グループ J-V E R 担当者、内部監査員 (以下監査員) を林政課長とした。算定担当者は、吸収・排出活動の把握、吸収・排出量データの算定、モニタリング報告書の作成を実施した。算定確認者は、算定担当者が実施する内容が正しく行われているか確認した。算定責任者は、モニタリング報告書の作成やデータ管理・保管等の実施に責任を持ち、未実施の場合は関係者に対して、是正させ、監査員はそれらの内容について、監査した。

8 QA/QC 体制

(1) 教育・訓練

算定担当者は、モニタリング実施時に林政課及び出先機関の職員などに対し、モニタリング体制やモニタリング手順、測定機器の維持管理、モニタリング報告書記載方法等についての説明を行った。

(2) 情報の管理

モニタリング報告書作成時、算定責任者は、検証機関が純吸収量の算定結果を再計算できるように、純吸収量を算定するために使用した全データを文書化し、プロジェクト期間終了後、林政課内若しくは書庫に保存する。

(3) データの確認

モニタリング報告書作成時、算定担当者は、収集単位の確認、野帳と算定ファイルの突き合わせ、使用した係数等の妥当性の確認、他の関係データとの比較、経年的なデータ変化や林分間の比較、恣意的なデータ・はずれ値の識別等のデータチェックを、算定確認者など複数人で行った。

(4) 内部監査

監査員は、モニタリング、データ収集、純吸収量の算定、報告等の一連の報告プロセスの信頼性の維持・向上のため、モニタリング体制、ガイドライン等に対し、組織が適切な活動が実施されているか、効率よく機能しているかについて、プロジェクト計画書作成時、若しくはモニタリング報告書作成時に確認した。課題や問題点があった場合は、是正措置を講ずる。

		9 測定機器の維持・管理						
		各機器については、取扱い説明書に従い、適切にキャリブレーション等を行うとともに、間伐実施時やモニタリング調査実施時において正常に動作するか確認した。						
モニタリング結果概要 ²		<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。 (その他特筆すべき事項)						
適用モニタリング方法 ガイドライン		オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (森林管理プロジェクト用) ver.1.9						
適用方法論		方法論番号		R001 ver.4.0				
		方法論名称		森林経営活動による CO2 吸収量の増大 (間伐促進型プロジェクト)に関する方法論				
モニタリング結果								
モニタリング期間		2009年4月1日～ 2010年11月30日						
モニタリング対象面積		24. 68ha						
排出削減・ 吸収量		年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
		t-CO ₂ ³		308	199			507
認証依頼削減・吸収量		507 t-CO ₂						

² モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入してください。

³ 小数点以下は切り捨てとし、トン単位で記載してください。よって、小数点処理のため、表記上では単年度の削減量・吸収量の合計と、各年度合計量が異なることもあり得ます。

ダブルカウントの防止の措置			
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	青森県		
ダブルカウントの防止措置内容	<p>当該プロジェクトに係る吸収量に対して、他の制度の認証を取得しない。</p> <p>環境に関わる付加価値の二重使用を防止するため、プロジェクトから創出されるオフセット・クレジットの発行量、移転量及び無効化量をホームページや環境白書、今年度策定予定の青森県地球温暖化対策推進計画において毎年公表予定のモニタリング報告などに記載し、二重に当該付加価値を主張することを防ぐ。</p> <p>なお、当該プロジェクトの対象地となった森林を第三者に譲渡する際には、①当該森林の環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、②当該森林書所有権の帰属先と環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成し、譲渡先に示す。</p>		
公的な報告・公表制度（判明している公的制度）	<p>環境白書</p> <p>地球温暖化対策推進計画（平成22年度中に作成予定。）</p>		
自主的な報告・公表対象（対象となるホームページ、環境報告書等）	<p>青森県林政課ホームページ</p> <p>(http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/rinsei/index.html)</p> <p>※当該プロジェクトの内容及び当該プロジェクトから創出されるオフセット・クレジット（J-VER）の発行量及び売却量を明記する。また、クレジット発行後には、当該クレジットに付属するCO2に係る環境価値の保有を前提とした主張は行わない。</p>		
ダブルカウント防止措置責任者（プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要）			
事業者名			印
住所			
代表者氏名		代表者役職	
担当者氏名		担当者 所属部署・役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
備考欄			

以上